

令和6年度 第5回利根町総合振興計画審議会 議事要約

【日 時】 令和6年11月15日（金） 午後2時～午後4時

【場 所】 利根町役場 会議室5-A

＜配布資料＞

- ・会議次第
- ・委員名簿
- ・【資料1】第5次利根町総合振興計画（素案）
- ・【資料2-1】重点施策 KGI・KPI一覧
- ・【資料2-2】分野別計画資料一覧
- ・【資料3】『第5次利根町総合振興計画後期基本計画（素案）』に係るパブリックコメント（意見公募）及び住民説明会の実施について

【出席者】 坂野会長，山口副会長，長瀬委員，石山委員，川村委員，直井委員，

長島委員（代理出席 須澤様），江幡委員，赤根委員（代理出席 増野様），

鈴木委員，吉澤委員，上原委員

【事務局】 布袋課長，渡辺課長補佐，生井係長，五十嵐係長，清水政策支援員

【コンサルタント】 山添氏，宮地氏，青木氏

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

（1）第5次利根町総合振興計画（基本構想後期基本計画素案について）

会 長： それでは議事の「（1）第5次利根町総合振興計画（基本構想・後期基本計画）素案について」説明は株式会社都市環境計画研究所様からということですのでよろしくお願ひします。

コ ン サ ル： ≪資料に基づき説明≫

会 長： 説明が終わりました。何かご意見等ございますか。

委 員： KGI・KPI重点施策の一覧表で，上から2番目の重点プロジェクト1のKGI，滞在人口率について質問させていただきます。重点プロジェクト3)のところでは関係人口と記述されていますが，滞在人口率というのは関係人口とイコールという感じでしょうか。

コ ン サ ル： 関係人口とは利根町に関係する人口のことですが，様々な方法で関係している人が含まれます。例えばふるさと納税で応援していただいた方など，利根町を訪れていない人も含まれます。滞在人口というのは，例えば働いている人や，休日にイベント等

で友人と遊びに来た人など、その場にいる人口のことです。利根町でいいますと、1月と8月は滞在人口が一番多いです。14時の時点で、定住人口の8割程度の人がいるということがわかります。滞在人口が1を超えるのが目標となります。日中の滞在人口を増やすためには働く場を作るといった取組が考えられます。

委員： 図書館の2階にあるコワーキングスペースを利用した友人がおりまして。我孫子市の人に、どこかで作業できる場所がないかと聞かれて紹介したところ、大変喜ばれて。サテライトオフィスというわけではありませんが、我孫子市・龍ヶ崎市の市民も図書館を利用できるということで、リモートワークにもつながると思い、そのような理由で利根町を訪れる人も関係人口だなど。なるべく関係人口を把握できるようにした方が良くは思っていました、自分では方法がわからない。いろんな形態を網羅するのは難しいでしょうけど、滞在人口率は人の流れを把握するのに良い方法だと思われ、滞在人口率を1にするのは良い取組だと思いました。

コンサル： おっしゃる通り、テレワークで働くために利根町を訪れる方もカウントされています。

副会長： 人数の数え方は目視ではなくて、おそらくスマートフォンのGPSでカウントしていると思います。

委員： KGIとKPIについて調べてみたところ、企業で使うことが多い指標だと書かれていました。総合戦略にはなかったと思いますが、KGIを導入した理由を教えてください。

コンサル： KGIはこれまでも総合戦略にも設定されているものです。総合振興計画と総合戦略を今回統合しますので、KGIとKPIもこの中に含まれます。

委員： ありました。KGIとは書いていないですが、数値目標の記載は総合戦略にありました。

委員： 資料2-1の2, 2)に3つの指標に49pと記載がありますので、素案の49ページを開いてみると、KPIの2つの欄がどちらも空欄になっています。ここに3つ指標が入るという解釈でよろしいですか。

コンサル： その通りです。今は2つしか欄がありませんが、3つ入ります。考え方としては、下の表に太字で「確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成」「相談・支援体制の充実」「家庭・地域・学校等の連携」と記載がありますが、それぞれ1つずつ指標を設けます。

委員： 「地域クラブ活動における指導者数」の実績値が15人、目標値が15人となっています。目標値は1人でも多く設定する方が良いのでは。中学校の部活動地域移行を推し進めるにあたり、指導者数は増えると思うので、目標値を現状よりも増やす方が良いのではないかと思います。

副会長： 「算出方法・データ引用元」の記載はご覧になられましたか。欲張らずに現況値と目標値を同じ人数に設定しているということだと思います。

事務局： 担当課の生活学習課に目標について検討してもらいました。現在は生涯学習課が事務局となって先生を手配するなど、地域クラブの運営に携わっている状況だそうです。まだ確定はしていませんが、来年度以降は生涯学習課が事務局ではなくなり、完全に民間が運営するイメージだと生涯学習課の方から伺っています。その場合、目標地位を高く掲げることが難しいという回答がありました。具体的な数値を入れられないということで、目標値を令和6年度の15人と同数としています。事務局としては目標値の再検討が必要かと考えております。計画の策定にあたり、新たな指標ができるかどうか検討していきたいと思われ。

会長： 地域クラブや部活動の地域移行は学校では重要な話なので、どのように進められるか、簡単にご説明いただけますか。

事務局： バスケットボールやサッカーといったクラブ活動において、謝礼をお支払いして民間の方にコーチという形で携わっていただいているところです。今後は民間の団体に

入っていただくのですが、スポーツに限らないようで、地域クラブとして運営されるように変わっていくようです。

委員： 資料２－２に記載のある保育所待機児童数が、現況値と目標値が両方０となっている。「子育て環境の充実」という項目で、今後子どもたちの数が減っていく中で、この目標値を提示して良いのか。別の指標はないのでしょうか。

事務局： 担当課の方にも確認しているものですが、再度調整を図りたいと思います。

会長： 子育て施策が充実していて子どもが増えている町で待機児童ゼロと言われれば素晴らしいことだと思います。例えば隣の市は子どもが減っていて、当然待機児童ゼロが続いている。放課後児童クラブ、学童に関しても同じことが言えます。

委員： 資料１－１の３５ページ、基本施策２「特色ある学校教育の推進」とありますが、利根町ならではの教育とはどういったものなのか説明が欲しい。基本施策３の上部の段落で「交流や体験の機会など、利根町ならではの子どもたちのための学びを充実させます」と記載するのはどうでしょうか。

会長： 特徴的な教育であることを示す文言をすべての項目に入れても良いのではないかといいことですね。もしご検討いただけるようでしたら、お願いします。

委員： １０３ページ、「３－２－２ 義務教育の充実」で、上から二つ目の重点施策についてです。２行目に標準学力調査テストと書いてあります。保護者の方に分かりやすいようにこのような書き方をされたのかなと思いますが、「標準学力調査」も十分使われている言葉なので、さらにテストと書かなくても良いのかなと思いました。

コンサル： 「テスト」を除いて良いのか、担当課に表記について確認したいと思います。

副会長： 今回の資料には「DX」という言葉がいくつも出てまいります。「DX」という言葉が技術という意味合いで使われているような文章表記になっていると感じます。DXは元々「デジタルトランスフォーメーション」ですから、デジタル技術を使った社会や企業組織の変革という意味です。DXを「技術」と置き換えるような文脈は気持ち悪い気がした次第です。例えば４２ページの下から２行目。それから資料２－２の４枚目のページの一番下「行政手続のオンライン化率」に、「DXを活用して行政サービスの更なる向上を図っていく」という記述があります。行政手続をオンライン化しただけではDXには当てはまらない気がします。「DX」という言葉が流行りなので使われている印象を持ちました。昔は機械化と言っていました。昭和３０年代には「機械化」という言葉を使っていて、それから「電算化」とか。コンピューターの部屋も「電算室」と呼んでいました。その後「情報化」という言葉が出てきて、今は「DX」ということでどんどん言葉が変わっていきました。

コンサル： カタカナ語も含めて、巻末に用語解説をつける予定です。DXの扱いにつきまして、利根町でDX推進計画策定を進めていますので、利根町として「DX」という表記を積極的に使いたいというスタンスがございます。利根町とも協議の上、分かりやすい表記に変更するか、町としての姿勢を示すように調整いたします。

委員： 素案の施策５－４－１主な取組③自治体DXの推進に「町DX推進計画に基づき」と記載がありますが、利根町の自治体DX推進計画という意味ですか。

事務局： おっしゃる通りです。利根町の自治体DX推進計画という意味で自治体から町に変更しました。「自治体DX推進計画」と言ってしまうと、町のDX推進計画ではなく、行政が作る一般的なDX推進計画という意味合いになってしまうので、あくまで利根町の方で策定を進めておりますDX推進計画に基づいてデジタル技術の活用をしていくという意味で、「町DX推進計画」という文言に修正させていただきました。

委員： 重点プロジェクトについてです。４２ページ、一番下の４番目のキーワードとして「日々の暮らしに、いざというときに頼れるまちづくり」というものがあります。「日々の暮らしに」という表現が引っかかりました。日々の暮らしの中で少しずつ準備をしていき、いざというときに頼れるまちにしましょう、ということなのかなと思いました。ただ「日々の暮らしに」だけだと言葉が足りないのではないのでしょうか。

- コ ン サ ル : 54ページに「町民の日々の生活を守る環境づくり」ということで、防犯や医療、認知症対策、児童虐待の支援対策を記載しています。55ページで防災対策、56ページで国民健康保険制度の適正運営や、DX推進、窓口サービスといった行政側の取組についても紹介しています。従いまして、災害が起こった時に町民の方々が頼れる仕組み、さらに毎日の生活における町の役割も含めるため、「日々の暮らしに、いざというときに頼れるまちづくり」というタイトルとしました。なかなか一言で言い表すのは難しいと思いますので、再考したいと思います。
- 委 員 : 資料2-1と資料2-2について。目標数値を設定しておりますけれども、なぜこの目標数値を設定したのか、説明が足りないのではないかと思います。例えば資料2-1に「スポーツ大会参加者数」という項目があります。なぜ目標値を900人としたのか。1,000人、2,000人、3,000人ではなく900人とするに至った考え方をお示していただかないと、目標設定が妥当なのか判断できません。例えば平均値を目標値としたものなどは理解できますが、そうではないものが多いので。設定根拠を具体的に記載していただいた方が良いかなと思います。
- 会 長 : 何か根拠になるものはありますか。
- コ ン サ ル : 担当課さんにも確認し、目標値を設定した意図が伝わるようにいたします。
- 会 長 : 現状と目標値を提示するのが分かりやすいということですね。いただいた2つのご指摘、おっしゃる通りだと思います。
- 委 員 : 振興計画41ページに「利根らしさを持ち味」という記載がありますが、「利根町」となるところを「町」が抜けているのではないのでしょうか。
- コ ン サ ル : キャッチフレーズなので、あえて「利根らしさ」としています。
- 委 員 : 資料2-2に「子ども（中学生以下）の一人当たりの年間貸出冊数」の目標がありますが、我孫子市で一番本を読んでいる中学生の年間貸出冊数が137冊。年間貸出冊数が6,600冊。生徒が800人ほどいますから、一人当たり年間8冊くらい借りていることになります。中学生で8冊は非常に多い。もう一つ。私が勤めている中学校の生徒数は1,000人ほどですが、皆図書館で本を借りません。我孫子第4小学校にも勤めていますが、今年は今現在で貸出冊数が2万冊を超えました。去年は年間貸出冊数が2万冊だった。児童一人当たり年間で24冊くらい借りている計算になります。つまり小学校と中学校では差があります。学年が上がると本を読まなくなります。小学校低学年では本を読んでも、中学年になるとあまり読まなくなって、高学年になるとガクンと減って、中学校に行くともっと減る。高校に行くとさらに減ってしまうんですね。中学校以上の生徒に本を読ませることは特に大変なので、小中の数値目標を別に設定した方が良いのではないかと。学校では具体的な貸出冊数の目標数値があるわけですから、その目標数値を踏まえて、どう目標値を設定するのかという話になるのではないかと。
- 会 長 : ありがとうございます。非常に参考になりました。
- 委 員 : 資料1の104ページに図書館の話が出てきます。「学校図書館（学校の図書室）」という表記が一般の人にとってわかりやすい表記であることは重々承知していますが、学校図書館は学校図書館です。その下の行に、「教育活動に必要な資料の充実に努めるとともに、学校図書館司書による児童・生徒の支援等により、学校図書館の利用促進に努めます。」とあります。「学校図書館司書」ではなく「学校司書」という表現が正しい。確か平成26年度から学校法が改正されて、学校司書が置かれるようになったはずで。学校法で定められている職種ですので、「学校司書」と表記して欲しい。もし「学校司書」という表記が一般にわかりにくいのであれば、一般の方の認知度を高めるよう教育してもらいたい。また、この文章の中で司書教諭の存在が抜けています。学校図書館のメインは司書教諭で、それを支えるのが学校司書ですから、「学校司書」の前に「司書教諭・学校司書による」とした方が良いのではないかと。

- 会 長 : 正確な記述になれば良いということですが、中学校はどういった感じですか。
- 委 員 : 町として学校司書を雇用して、図書の整理や貸出をやっていただいています。今のお話の通り小学生は結構本を読みます。中学生は学年が上がるほど読書量が減少します。年間貸出冊数の担当課が生涯学習課で、中学生以下の目標となっているのですが、学校の図書室の本を読んだ冊数なのか、利根町図書館で借りた冊数なのかを確認したいというのが一つ。実は茨城県は「みんなにすすめたい一冊の本活動」を通して、子どもたちの読書を推奨しています。小学校4年生から6年生で300冊読むと、県知事賞がもらえます。年間50冊以上読むと県から賞状がもらえます。中学校でも同じ取組を行っていますが、中学生はやはり部活動もあり、朝の読書時間がないので読書量が減ってしまう現状があります。
- 事 務 局 : 計画の表記は担当課にも確認したものになります。いただいたご提案・ご意見も踏まえ、担当課の方に確認・共有を図って修正を進めたいと思います。基本施策3「子ども（中学生以下）の一人当たりの年間貸出冊数」の指標につきましても、ご意見の通りだと思いますので再度検討させていただければと思います。
- 委 員 : よろしいですか。資料1にSDG sのアイコンがありますが、SDG sの説明はどこかに載せる予定でしょうか。
- コ ン サ ル : 掲載したいと思います。
- 副 会 長 : 今回ではほぼ総合振興計画ができあがった感じがありますが、今回作った計画が一言で言ったらどういうものかと問われたときに、皆さんだったらどう言われますか。私が考えた説明を紹介させてください。今回の計画は第5次総合計画の後期6年間の視野に入れたものです。キャッチフレーズや基本的なコンセプトは前期のものを継承します。今回は重点施策として、国のデジタル田園都市国家構想を、利根町の課題や資源の実情に当てはめて、再構成して統合することにしました。重点プロジェクトは4つあります。一つ、機能的効率的な町。一つ、子育て教育環境が整備された町。一つ、ワーク・ライフ・バランスが実現する町。一つ、いざというときに頼れる町。これらはどれも利根町の根本的な課題である深刻なレベルの高齢化、少子化に対処するものです。これらが実現できるまちを、デジタル技術なども活用しながら、住民みんなで作るための計画です。ここまで言うのに一分くらいかかります。より良い案をぜひ考えてください。
- 会 長 : ずばりそのものではないかと思います。
- 副 会 長 : 根本的な問題は高齢化・人口減少だと思いますが、利根町全体を4つくらいに分けたら良いかなと最近思いました。一つは団地ですよね。団地も二つに分かれると思います。新しい所で、もえぎ野台と、四季の丘の新しいところで。平均年齢もすごく低いです。それから古い方の団地は平均年齢がめちゃくちゃ高いです。早尾台は高齢化率が60%近いです。一番高いところはニュータウンで、60%を超えています。それから旧町の方は商業地域と農家さんと工業地域と。その三種類くらいに分かれるかなというようなことを考えています。ですから、次にもし計画を作る機会があったら、エリア別・セグメント別に課題と対処法を考えていったら良いのではないかと思います。
- 会 長 : ありがとうございます。総合振興計画にも都市計画・地区計画を導入したらどうかというご提案です。
- 事 務 局 : ご意見ありがとうございます。第6次計画は、いただいたご指摘を踏まえて計画を策定したいと思います。
- 会 長 : 大きな市であれば、地区別の計画を立てて総合振興計画の策定を進めていくと思いますが、利根町は良い意味で皆さんの顔が見える町ということで、町全体で意見をまとめる形にしたのではないかと思います。ただ土地エリアによって住民の意見に乖離が出てくると、先生がおっしゃるように、地区ごとに住民の意見を伺うことになるのかなと私も感じております。

(2) パブリックコメントについて

- 会 長 : 事務局からご説明よろしく申し上げます。
- 事 務 局 : 《資料に基づき説明》
- 会 長 : 説明が終わりました。何かご意見等ございますか。
- 委 員 : パブリックコメントはメールでも送ることができますか。
- 事 務 局 : 意見書の提出方法は4つございます。まず窓口への持参。役場に直接お持ち込みいただくという方法です。次に、郵便で書いていただいた意見書を郵送いただく方法です。3つ目はFAX, 最後に電子メールという方法で提出が可能です。特に推奨している方法はございませんので、ご意見がございましたら、いずれかの方法で提出をお願いいたします。

4. その他

- 会 長 : 全体を通して何かご意見ご質問等ございますか。全ての議事が終了したということになります。皆さんご協力ありがとうございます。ないようでしたら事務局にお返しします。
- 事 務 局 : 次回の審議会についてご案内をさせていただきたいと思います。本日の審議会をもちまして令和6年での開催は終了となります。次回の審議会でございますが、令和7年1月31日(金)を予定しております。時間につきましては本日同様午後2時からを予定しておりますが、詳細につきましては開催通知を送付させていただきますので、ご確認いただければと思います。パブリックコメント実施まで時間が迫っておりますが、この後お気づきの点等ございましたらご意見を反映したものでパブリックコメントを実施したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

5. 閉会

- 事 務 局 : 皆さま、本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。
以上をもちまして、令和6年度第5回利根町総合振興計画審議会を閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。